

玉の緒会 寄合

2026/1/24

本日のアジェンダ

- I 「一般社団法人玉の緒会」・杵屋勝くに緒教室「玉の緒会」の「理念と構造」について
- II 自主練会 改変について
- III 監事就任について
- IV 杵勝会歌舞伎座全国大会について

杵屋勝くに緒

- ①演奏家としての個人活動
- ②師匠としての教室運営
- ③一般社団法人の代表理事としての活動

②と③の整理

師匠の役割：玉の緒会の**全責任を負う決定権者**

※現場のインストラクターではない

法人の役割：対外的な責任を負うための「**社会的な器**」

※会員に対するサービス提供者ではない

法人の中に教室があるのではなく

「**師匠の構想**」を社会的に成立させるための**仕組み**

ルールの考え方：

- 師匠とお弟子さん一人ひとりとの『**個別の縦の線**』の集合体
- 師範・名取・門下生の「序列」 優劣ではなく**責任と心構えの違い**
- 個別の事情には可能な範囲で配慮するが最終的には**全体ルールを優先**
- ルールは会の成熟度やその時の社会状況に合わせて変更

『**芸の質の担保**』と『**全体の秩序**』を守るための全体ルールを優先

「一般社団法人玉の緒会」・杵屋勝くに緒教室「玉の緒会」の「理念と構造」について

心構え：

お弟子さん ≠ お客様：

お月謝とは

- 「師匠の時間を買っている」のではない
- 「お布施（浄財）」に近い性格
- 「席」を守るためのもの

親子の礼儀：**師弟は『親子』 玉の緒会は『家族』**

発言・行動は「会全体への影響」

- 他所の先生は、親の同僚や先輩
- まずは親である師匠に報告・相談

続けるか否かは自由だが、姿勢は選べない

在籍中は会のルール、師匠の判断を尊重する姿勢が求められる

玉の緒会の行動指針

1. 芸の継承と研鑽
2. 師弟の礼節と「縦の線」の尊重
3. 全体の秩序とルールの遵守
4. 品位ある言動と守秘の徹底
5. 感謝とリスペクトの精神

**芸の継承・研鑽を第一としつつ、
現代社会の中で無理なく、かつ誇りを持って長く続けられる場**

II 自主練会 改変について

(別途)

III 監事就任について

(別途)

IV 杵勝会歌舞伎座全国大会について

杵勝会歌舞伎座全国大会（2027/4/24土～25日）

（1）玉の緒会みんなで参加

4月25日（日）「勸進帳」

※下浚いは23日か22日

（2）任意参加 エントリー制にします

- ・お開き合奏曲「花見踊」（24日・25日ともに）
- ・師範合奏曲「靱猿」（花見踊に出演していることが条件）
- ・奨励曲 24日「藤娘」 25日「櫓三番叟」
- ・こども楽団 24日「ともやっこ」

※杵勝準会員はなびしの会入会

※揃い着物の準備

※楽器購入希望者の準備